

政 策 2

～一人ひとりの人権が尊重される

地域社会をつくれます～

後期基本計画に定める指標値「めざそう値」等一覧

【めざしたい将来像】

松戸に住むすべての人が互いに認め合い、多様な形でかかわりあえる「平等で人間性豊かな地域社会」を、自分たちで創り上げることをめざします。そのために、学習・交流など、様々な活動を心掛けます。

指 標		21年度	22年度	25年度	27年度 現状値	28年度 (注1)	32年度 (注2)
身の回りで人権 が守られている と思っている人の 割合	めざそう値 (目標)	—	42.5%	51.3%	—	58.6%	60%
	実績値	45.7%	48.1%	48.1%	50.4%	—	—

(注1)平成28年度のめざそう値は、第5次実施計画でめざす目標値です。めざそう値(28年度)設定の考え方は、第5次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説によります。

(注2)平成32年度のめざそう値は、後期基本計画書に記載しているめざそう値を記入しております。その中で“(※)”の表記のあるものについては、第6次実施計画策定時に平成27年度の現状値などを踏まえ見直します。

政策2

一人ひとりの人権が尊重される
地域社会をつくります
一人ひとりの人権を尊重します

1. 現況と課題

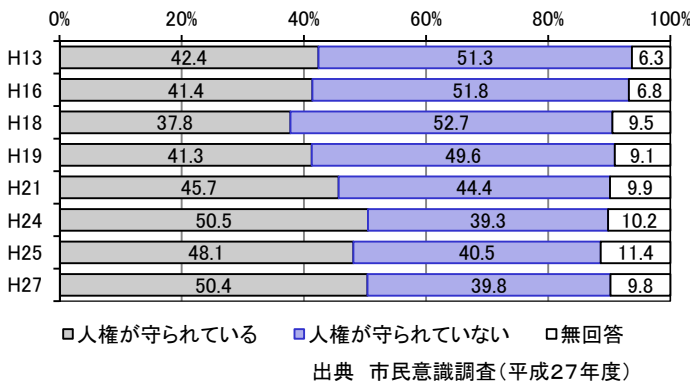
今日、高度情報化社会の進展や社会情勢の変化により、女性、子ども、高齢者、障害のある人、同和地区出身者、外国人及びHIV感染者等にかかわる人権侵害が問題になっています。最近では、インターネットによる人権侵害も、新たな人権問題として顕在化しています。

本市においても、高齢者への虐待、市民意識調査によると、「身の回りで人権が守られていると思っている人の割合」は、平成13年度42.4%であったものが、27年度には50.4%へと増加していますが、今後も、市民一人ひとりが人権感覚を磨き、問題意識を持って人権問題の解決に当たることが求められています。

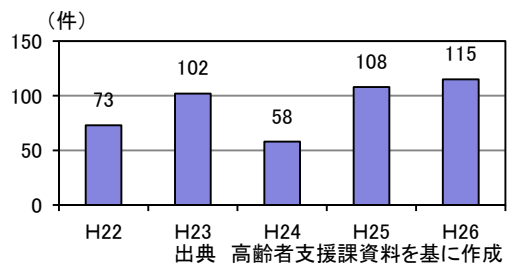
【特筆すべきニーズの変化】

- ・さまざまな人権侵害の問題に関する理解を高めていくことが求められています（ニーズの増）

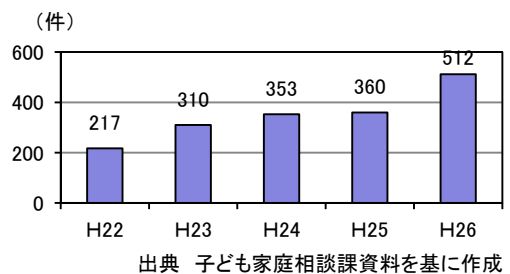
●人権が守られていると思っている人の割合



●高齢者虐待相談件数（松戸市）

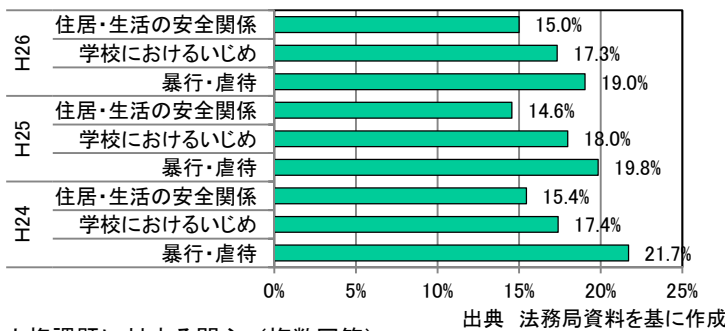


●児童虐待発生件数（松戸市）

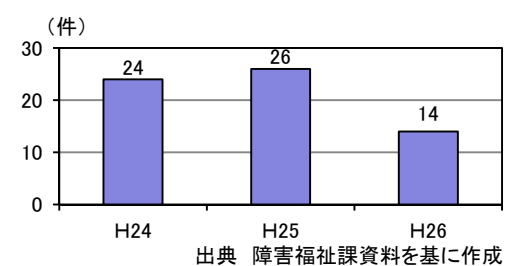


●人権相談の内訳

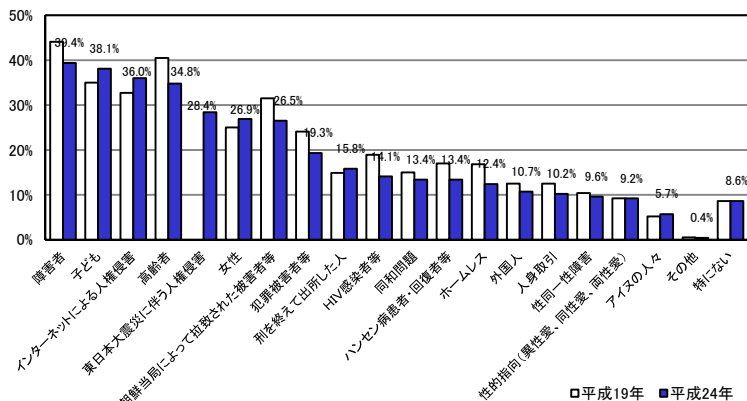
(法務省資料を基に作成、上位3項目)



●障害者虐待通報・届出件数（松戸市）

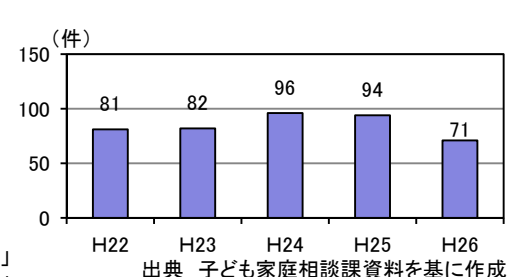


●人権課題に対する関心（複数回答）



出典 内閣府「平成19年6月人権擁護に関する世論調査」
「平成24年8月人権擁護に関する世論調査」

●DV発生件数（松戸市）



2. 施策の展開方向

平成9年2月策定の「松戸市人権施策に関する基本方針～このまちに人権文化を築くために～」、平成11年11月策定の「人権施策推進に係る指針」に基づき、市民の人権意識の高揚、人権侵害被害者を救護支援する仕組みづくり、人権尊重の市役所づくりを進めます。

具体的には、人権に関する講演会、人権講座の開催等の人権啓発事業を実施し、市民の人権に関する意識を高めていきます。また、人権問題に係わる相談を受ける窓口の連携を高め、新たな人権問題にも適切に対応できる相談体制を築きます。そして、市の各課に配置されている人権施策推進員を中心に、全庁的に人権施策を推進していきます。

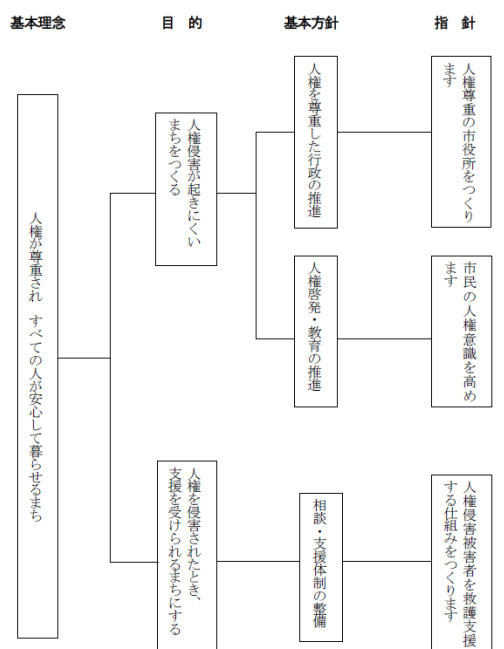
3. 施策を推進していく上での課題

身の回りで人権が守られていると思っている人の割合が増えてきていますが、市民意識の向上と維持のためには、啓発活動を継続的に行う必要があります。また、新たに顕在化する人権問題を含め、多岐にわたる人権問題に対する意識向上のための取り組みが必要となります。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ・「人権施策推進に係る指針」を策定し、市民や庁内に向けて人権施策事業を展開してきました（強み）

●人権施策の体系図



出典 行政経営課資料

●人権週間に伴う市民向け講演会

年度	内容	参加人数
H25	人権講演と合唱のつどい 講師: 香山 リカ氏「より良いコミュニケーションとは？」	332人
H26	人権講演と合唱のつどい 講師: ダニエル・カール氏「人にやさしい人づくり」	388人
H27	人権講演と合唱のつどい 講師: 杉尾秀哉氏「報道と人権～情報化社会を生きる～」	325人

出典 行政経営課資料

●職員向け研修会

年度	内容	参加人数
H25	①松戸市の人権施策と人権施策推進員の役割及び人権啓発ビデオ視聴	136人
	②多磨全生園及び国立ハンセン病資料館現地学習	130人
	③人権講演会「社会的格差・不平等と人権問題」	190人
	④人権講演会「ハンセン病医師として歩んだ道」	116人
H26	①人権講演会「災害と人権」	148人
	②アイヌ文化交流センター現地学習	130人
	③人権講演会「人権を大事にすることは～子ども・障がい者の人権～」	200人
H27	①松戸市の人権施策と人権施策推進員の役割及び人権啓発ビデオ視聴	123人
	②多磨全生園及び国立ハンセン病資料館現地学習	134人
	③人権講演会「障害者差別解消法について」	207人
	④人権講演会「不寛容と暴力」及び人権啓発ビデオ視聴	124人

出典 行政経営課資料

●人権情報コーナー（松戸駅東西自由通路）



※市民や行政の人権情報の発信に利用されています。

●市民大学講座（人権講座）平成27年度

学習内容	参加人数
人権一人間の尊厳を考える	24人
いまあらためて考える同和問題	22人
ハンセン病回復者の人権 見学と講義～国立ハンセン病資料館・多磨全生園(東村山市)～	18人
遺品整理の現場から考えること	23人
学習の振り返りとまとめ	16人

出典 生涯学習推進課

●人権課題の解決のための方策に関する世論（複数回答）（上位3つを抜粋）

学校内外の人権教育を充実する	55.3%
人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する	42.8%
地方自治体、民間団体等の関係機関と連携を図る	38.5%

出典: 内閣府「平成24年8月人権擁護に関する世論調査」